

ラジオの強靱化に関する調査

期 間：3月29日（金）～4月12日（金）
調査内容：ネットワークの強靱化に係る状況や対応策
※具体的な調査項目は以下のとおり。

1 ネットワーク強靱化の状況・課題

以下の項目について、適宜の様式により提出願います。

(1) 災害放送の実施体制の確保の状況

- ① 大規模災害を想定した「業務継続計画」の策定状況
- ② 大規模災害時におけるバックアップの状況（送信所や演奏所が機能不全となった場合の代替措置等）
- ③ 緊急警報放送、緊急地震速報への対応状況
- ④ 自治体との災害放送に関する連携状況（地域防災会議への加入状況、協定の有無・概要等）
- ⑤ 自治体との災害放送に関する協定の内容（自治体からの求めによる災害放送に係る費用負担項目の内容、緊急割込放送に関する規定の内容）
- ⑥ 他の放送事業者、団体等との災害放送に関する連携状況（協定の有無、概要等）
- ⑦ 送信所の津波や洪水等に対する防災対策（高台移転等）の必要性や今後の予定

(2) 送信所の状況

- ① 送信施設の老朽化の状況（特に送信アンテナの老朽化の状況）
- ② 送信施設の更新の予定（対象施設（送信アンテナ、送信機、STL、ステイ、電力装置等主要な施設）、時期等）、更新に係る費用

(3) 難聴（都市型難聴、地理的・地形的難聴、混信による難聴）の状況

- ① 難聴の実態（地域・世帯数、過去20年の相談件数（内容別）の変化等）
- ② 電子機器・建造物堅牢化の影響
- ③ 難聴対策の実施状況（周知、受信相談、ネットの活用等）
- ④ 難聴対策としての中継局整備の必要性や今後の予定

(4) 自治体との連携状況

- ① 中継局の整備・維持への自治体の協力状況（中継局名、整備費、維持費、土地確保への協力、各種減免措置等）
- ② 自治体からの出稿の状況（自治体名、番組本数、時間数、出稿費等）
- ③ 中継局単位で親局とは異なる地域情報等の放送状況（中継局名、時間数、自治体からの出稿状況）

2 災害対策、難聴対策としての置局等の意向

上記1の(1)⑦又は(3)④に関連し、災害対策又は難聴対策として以下のような置局等の意向がある場合は、設置場所、対象地区、対象世帯数、出力、時期、費用、設置理由等について、可能な範囲内で、適宜の様式により提出願います。

- ① AM放送事業者、短波放送事業者による中継局の置局等（FM方式の中継局の補完的な置局（AM放送・短波放送の親局、中継局の維持を前提とした置局）を含む。）
- ② FM放送事業者による中継局の置局等
- ③ その他、FM波利用による新たな活用（例：FM波の「見えるラジオ」を活用してきめ細かな防災情報を活用する等）

<参考>本照会項目については、別途ヒアリングを行うことや今後さらに詳細な照会を行うことを予定しています。